

「みんなの学校」が 教えてくれたこと その子がその子らしく 育つ大切さ

『みんなの学校』大空小学校の初代校長

木村泰子先生

講演会

入場無料
事前予約不要

11/29金

開場18:30 開演19:00 終了20:40予定

場所:下諏訪町文化センター 小ホール

対象:どなたでも 定員:300席

◆駐車場あり ◆席に限りがございます ◆託児の用意はございません

大阪市立大空小学校とは

大阪市住吉区にある公立小学校。教職員は通常のルールに沿って加配されているが、地域の住民や学生のボランティアだけでなく、保護者らの支援も積極的に受け入れた「地域に開かれた学校」として、多くの大人たちで見守れる体制を作っている。

学校の理念は「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」であり、不登校はゼロ。唯一のルールとして「自分がされていやなことは人にしない 言わない」という「たったひとつの約束」があり、子どもたちはこの約束を破ると「やり直す」ために、やり直しの部屋(校長室)へ。他の小学校で、厄介者扱いされた子どもも、この学校の学びのなかで、自分の居場所を見つけ、いきいきと成長。

また、まわりの子どもたちも、そのような子どもたちとのかかわりを通して、大きな成長を遂げていく。学校を外に開き、教職員と子どもとともに地域の人々の協力を経て学校運営にあたるほか、特別な支援を必要とされる子どもも同じ教室とともに学び、育ち合う教育を具現化した。2015年2月、同校のドキュメンタリー映画「みんなの学校」が全国で公開され大ヒット。大空小の子どもたちと教職員、保護者、地域の人々が学び合い、成長していく感動の軌跡をたどりながら、今の時代に求められる教育のあり方に鋭く迫る映画として注目されている。「奇跡の学校」をつくり上げてきた感動物語。

みんなで作る みんなの学校

講師

木村泰子先生

大空小学校初代校長
大阪市出身。

武庫川学院女子短期大学教育学部保健体育学科(現武庫川女子大学短期大学部健康・スポーツ学科)卒業。「みんながつくる みんなの学校」を合い言葉に、すべての子どもを多面から見つめ、全教職員のチーム力で「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注ぐ。学校を外に開き、教職員と子どもとともに地域の人々の協力を経て学校運営にあたるほか、特別な支援を必要とされる子どもも同じ教室とともに学び、育ち合う教育を具現化した。2015年春、45年間の教職歴をもって退職。現在は全国で講演活動などを行う。

